

## 第2部 鉄道交通

### 第1章 鉄道交通事故の動向

#### 1 近年の運転事故の状況

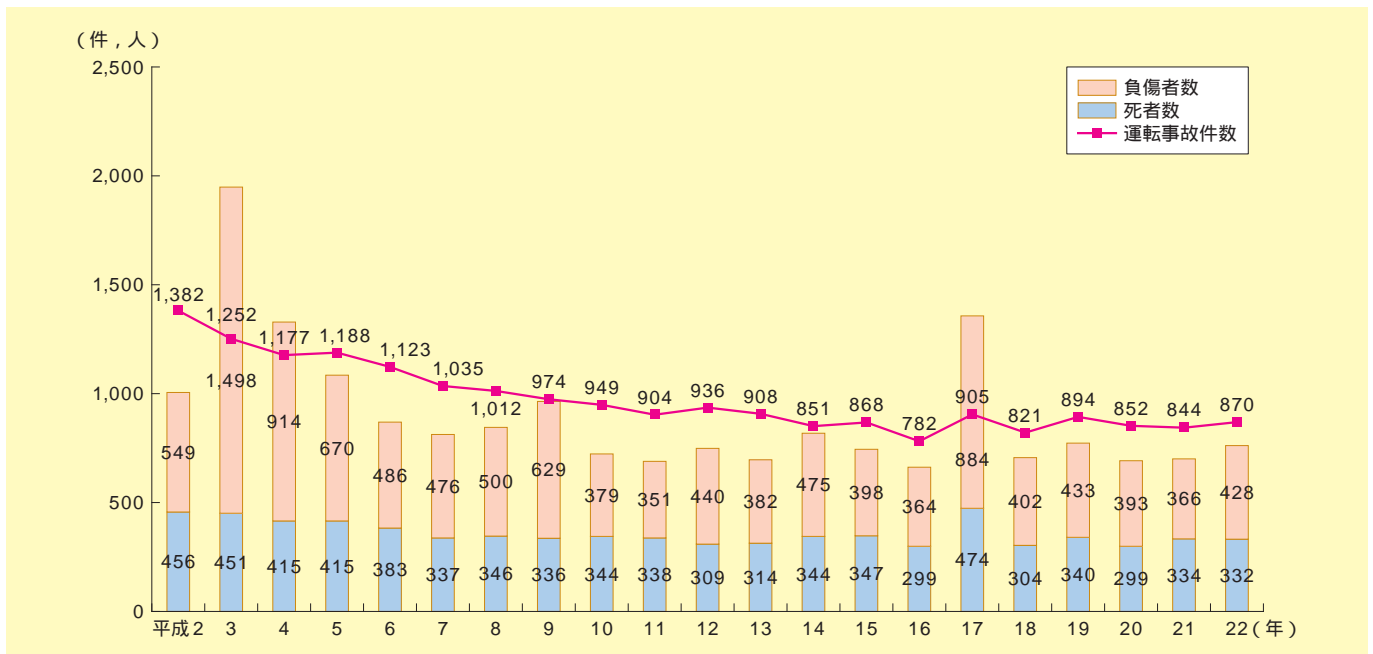
鉄道交通における運転事故は、長期的には減少傾向にあり、平成2年に1,382件であったものが、平成22年の運転事故件数は870件となった。

運転事故による死傷者数は760人（うち死亡者332人）で前年比8.6%増となった。

踏切事故は314件で前年比4.0%減であり、運転事故の約36.1%を占めた。また、死傷者数は250人で前年比16.3%増となった。

平成22年中の重大事故（死傷者が10名以上又は脱線両数が10両以上生じた事故）は、1月29日に発生したJR北海道の函館線深川駅～妹背牛駅において、踏切道で列車が大型トラックと衝突して脱線し、乗客等45人が負傷した列車脱線事故の1件である。

運転事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。  
2 死者数は24時間死者。

#### 運転事故

列車衝突事故，列車脱線事故，列車火災事故，踏切障害事故，道路障害事故，鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。なお，軌道の運転事故は，鉄道運転事故と同様に定義する。